
バカと百合な妹と召喚獣

黒炉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカと百合な妹と召喚獣

【Nコード】

N6361Y

【作者名】

黒炉

【あらすじ】

この小説は『バカとテストと召喚獣』双子の妹は瑞希好き！？
『』を一から書き直したものです。吉井明久の双子の妹は兄の想い人、姫路瑞希が大好きな百合娘！？彼女が乱入したバカテスト世界はどう動いていくのか！？（といっても原作沿い……）他作品と同時に更新となるので、あまり更新ペースは速くありませんが、よろしく
願います！

第0話（前書き）

あらずじにも書きましたが、この小説は『バカとテストと召喚獣

』双子の妹は瑞希好き！？』を一から書き直したものです。

双子の妹は瑞希好き！？をお気に入り登録、評価してくださった皆様、そして読んでくださった読者の皆様に楽しんでいただけるものを書いていくつもりです。

それでは第0話^{プロローグ}です。

よろしく願います。

第0話

「体調が悪くて途中退席するだけで無得点だなんてあんまりじゃないですか!！」

少年の声が振り分け試験会場に響いた。

少年の名は『吉井明久』。来年度で文月学園の第2学年に進級する生徒である。

振り分け試験とは、世界でも珍しい『試験召喚システム』を取り入れた進学校『文月学園』のクラス分け試験である。

文月学園は第2、3学年はテストの点数によってAからFの6つのクラスに振り分けられる。

点数が高ければAクラスに、点数が低ければFクラスに振り分けられるというわけだ。

「体調管理も試験のうちだ。吉井、お前は早く席につけ。姫路、保健室に行くか？ただし試験中の途中退席は「無得点」扱いなるがそれでいいか？」

教師は明久を無視し、明久が抱きかかえている少女 姫路瑞希に聞く。

「……退席、します……」

「そうか。なら誰か先生を」

「……もういいです。僕が瑞希ちゃんを保健室まで連れて行きます」

監督の教師が瑞希を連れていくために他の先生を呼ぼうとすると、明久が静かに言った。

「…吉井、分かってないようだから言うが、試験中の途中退席は無
得点扱いで
」
「関係ないです」

一言、それだけ言うと、明久は瑞希をかついで教室を出ていく。

監督教師はそれを黙って見ていたが、すぐに咳払いをして周囲の生徒にs注意を促す。

そんな中、ただ一人ペンを止め、表情を曇りに曇らせている少女がいた。

少女は明久と瑞希が出て行ったドアを見つめる。いや、もしかしたらその先にいるであろう二人を見ているのかもしれない。

「……………先生」

ガタツと少女は席を立ち、監督教師を呼ぶ。

「なんだ吉井。席に着け」

「気分が悪いので保健室に行ってきます」

「気分が悪いようには見えないぞ」

「いいえ。はっきり言って最悪です」

指摘された通り、体調が悪いわけではない。

悪いのは体調ではなく、気分そのものなのだが。

「…お前も兄同様分かっていないようだが、試験中の途中退席は

「それくらいわかっています」

口では敬語でも、少女の教師を睨む目には敬意など一切含まれていない。
むしろ軽蔑さえ含まれているだろう。

「先生の存在のせいで気分が悪くなったので途中退席させていただきます。次アキ兄や瑞希の前で喋ったらぶち殺しますから覚悟してください」

ありつたけの罵倒をぶつけると、スタスタと教室のドアに向かって歩いていく。

当然教師がそれを見逃すはずがなく、少女を引き留めようとするが、

「ま、待て！戻るんだ！お前なら間違いなくAクラス確定だろう！」
「自分の兄や友達をほったらかしにして使うシステムデスクに何の価値があるんですか。バカバカしい寝言をほざくのもいい加減にしてください」

少女は自分と明久、瑞希の荷物をてきぱきとまとめると、それを持って教室から出て行った。

「…………ふう、なんかまたやっちゃったなあ……………」

教室から出ると同時に少女はため息をつき、すぐに保健室へ向かって走り出す。

第0話（後書き）

できるだけはやく、次を仕上げるつもりです。

オリ主人公のプロフィール紹介&オリジナル設定&原作キャラの設定変更点(前)

とりあえず連投です。

まあ他の奴もこの土日中に仕上げます。

え？勉強しろ？

ハテ？ナンノコトヤラ？

オリ主人公のプロフィール紹介&オリジナル設定&原作キャラの設定変更点

オリ主人公

名前：吉井香奈よしいかな

性別：女

身長：144cm

体重：【国家機密】

特技：歌、早読み、

趣味：読書、映画鑑賞

好きなもの：瑞希、明久、瑞希及び明久に優しい人、父親、福原先生、美春、玉野、イチゴ、甘いもの、動物（主に猫&ウサギ）

嫌いな物 瑞希及び明久をバカにする人、FFF団、苦いもの、牛乳、玲

得意科目 現国、古典、日本史、世界史、音楽、

苦手科目：物理、数学、保健体育

容姿：明久と同じ茶色がかった髪で、三つ編み。身長が低いが出るべきところを出ている。文月学園公式ロリ巨乳。一部にファンクラスがいるほど。

性格：純粹。頭の回転も速く、雄二ほどではないにしても、策略家として非常に有望。キレたときは人が変わったように攻撃的な性格になり、文系科目の圧倒的な攻撃力で相手をねじ伏せる。ただし、強いのはあくまでも試召戦争の時だけの話。本人の格闘能力は極めて低く、喧嘩をしたこともない。攻撃的になるのも性格だけで、単純な腕力が必要な場面ではいつも弱気になってしまう。

身体能力：ある程度の体力はあるが、それでも瑞希より少し上くらいのレベル。

成績：古典、現国は教師クラス、600前後。日本史と世界史は400点前後で、物理、数学、保健体育は120点前後。それ以外の教科は200点前後。総合科目は3000点強。

素行：成績面からも優等生なのは一目瞭然……なのだが、明久や雄二、秀吉や康太といったバカメンバーといつても一緒にいる。頭の回転が速い割に天然……というか、バカな行動が目立ち、上位成績者でありながら鉄人に目をつけられているという珍しい存在。基本的に体力がないので、鉄人から逃げるときは明久or秀吉にお姫様だっこされている。

召喚獣

装備は1m強くらいの長さの矛と蒼いロープ。先が3つにわかれている、あのポセイドンさんが持つてるやつ。

ロープには特殊効果があり、“あらゆる属性攻撃を受け付けない”。通常の武器攻撃や無属性の腕輪の攻撃には何の効力もないが、属性を持つ攻撃なら点数を問わず防御、無効化してしまう。特別な効力を持つ装備品、“天界の七神器”の一つである、『バス

クのローブ』

腕輪の能力は“津波”。

2000点消費で大きな津波を起こし、敵味方問わず敵を洗い流す。
一対多で真価を発揮する能力。

オリジナル設定

【属性攻撃】

腕輪の能力による特殊攻撃及び“天界の七神器”による属性を持つ攻撃のこと。

炎、水、風、雷、大地、光、闇の七つの属性と、それと、最上位属性である灼熱属性、神光属性、聖邪属性を足した十種類がある。
最上位属性はそれぞれ、扱える人間が一人ずつしかない。

例

香奈の“津波” 水属性

瑞希の“熱戦” 炎属性

愛子の“帯電” 雷属性

【天界の七神器】

七つある基本属性の頂点。

七体の神の力を装備に封じ込めたもので、特別な才能を有する人間にのみ与えられる。細かい判断基準は不明。

七体の神とは、炎神ゾシヨネル、海神バスク、雷神トール、風神ハーネラ、大地神バーサ、創世神ガリング、創世神ウンディガの七体を指す。

それぞれが属性をつかさどる装備になっている。

炎神ゾシヨネル ゾシヨネルの仮面 / 所有者：不明 / 効力不明

海神バスク バスクのローブ / 所有者：吉井香奈 / 属性攻撃を無効化

雷神トール トールのミヨルニル / 所有者：不明 / 効力不明

風神ハーネラ ハーネラの四風神 / 所有者坂本雄二 / ノトス、エウロス、ボレアス、ゼピュロスの四風神を召喚する能力。操作はオート、マニュアルを選択できる。

大地神バーサ バーサの果実 / 所有者：不明 / 効力不明

創世神ガリング はじまりの光 / 所有者：不明 / 効力不明

創世神ウンディガ はじまりの闇 / 所有者：不明 / 効力不明

【最上位属性】

最上位属性とは、基本属性の延長線上に位置する属性で、灼熱属性、神光属性、聖邪属性の三種。

それぞれをバハムート、セラフィム、シャヘルが司っており、灼熱属性がバハムート、神光属性がセラフィム、聖邪属性がシャヘルとなっている。

原作キャラの設定変更点

【吉井明久】

現国、古典がCクラスレベル。
瑞希の呼び方が『姫路さん』から『瑞希ちゃん』になっている。

【姫路瑞希】

明久のことを、最初から『明久君』と呼んでいる。

【島田美波】

香奈の影響で暴力が少し治まっている。

【坂本雄二】

メリケンサック装備のほかに、天界の七神器『ハーネラの四風神』を所有する。

明久と瑞希、教師以外で、香奈が天界の七神器所有者だと知る人物は雄二のみ。

【木下秀吉】

基本的に原作と一緒。

香奈にたいして気があるような……？

【土屋康太】

特になし。

オリ主人公のプロフィール紹介&オリジナル設定&原作キャラの設定変更点(後

厨二もいい加減にしろとか言わないで……？

第1問（前書き）

唐笠さん感想ありがとうございました！

第1問

バカテスト 化学

問 以下の問に答えなさい。

『調理の為に火にかける鍋を製作する際、重量が軽いのでマグネシウムを材料に選んだのだが、調理を始めると問題が発生した。この時の問題点とマグネシウムの代わりに用いるべき金属合金の例をひとつ挙げなさい。』

姫路瑞希の答え

『問題点……マグネシウムは炎にかけると激しく酸素と反応する為危険であるという点

合金の例……ジエラルミン』

教師のコメント

正解です。合金なので『鉄』では駄目という引っ掛け問題なのですが、姫路さんは引っかかりませんでしたね。

土屋康太の答え

『問題点……ガス代を払っていなかったこと』

教師のコメント

そこは問題じゃありません。

吉井明久の答え

『合金の例……未来合金）　すごく強い（』

教師のコメント

すごく強いといわれても。

吉井香奈の答え

『問題点……マグネシウムは炎にかけると激しく酸素と反応する為危険であるという点

合金の例……未来合金）　すごく綺麗（』

教師のコメント

変なところでお兄さんの影響を受けないように。

SIDE 明久

チュンチュンチュン……

小鳥のさえずりが聞こえる。なんかまさに朝って感じだ。
さて……

「香奈、なんでエプロン姿で僕のベッドにいるのかな？」

「ふえ……？あ、アキ兄おはようです」

「おかしいでしょ！？その状態でおはようはおかしいからね！？」

僕の部屋にいただけでもおかしいのになんでエプロン姿！？

僕が寝てる間にいったい何が！？

「ふあ……、朝ごはんができたからアキ兄を起こしに来たんですよ？」

「え？そ、それはありがと……じゃない！それで寝てるのはおかし

いからね!?!」

「そーですね!」

「違う!い〇とものノリで返して欲しいんじゃないんだ!」

うう……気遣いはうれしいんだけど、ちょっとぬけちゃってるんだよなあ、香奈は。

まあそこが可愛いんだけど!!(シスコン)

「あ、アキ兄……」

「ん?どうかしたの?」

「い、今……何時ですか……?」

「へ?」

何時ってそりゃあ……

時計を確認する。

「……………おーまいがあ」

現在時刻、8時30分。

吉井兄妹、完全遅刻。

SIDE 香奈

……というわけで、私たちは文月学園へと続く道を全力ダッシュしているのです。

「あ、アキ兄……」

「何!？」

「大丈夫ですか……?」

アキ兄が私をおぶりながら。

「大丈夫も何も、こうするしかないでしょ? 香奈は体力ないんだから!」

「うう………面目ないです………」

そりゃ確かに全然運動できないし、力もないですけど………

「遅いぞ吉井兄妹……お前らは兄妹なんだよな？」

「あ、おはようございます鉄……西村先生」

「おはようです、アイアンマン」

どうやら学校の校門に着いたようです。

そこには肌の黒い先生が仁王立ちしてました。

「吉井兄、お前今『鉄人』って言おうとしなかったか？それから吉井妹は英語で言えばいいってもんじゃないぞ」

「ごめんなさい西村先生」

「ごめんなさい金を失った人先生」

「違う！漢字をばらせと言ったんじゃない！」

あれ？えーと、じゃあどう呼べばいいんでしょう？

というか西村先生の本名ってなんでしたっけ？

「香奈、それが先生の本名だから」

「ふえ？西村ってあだ名じゃないんですか？」

「どんなあだ名だ！……まあいい、ほら、受け取れ」

先生が私とアキ兄に同じ封筒を渡してきます。

これって、振り分け試験の結果ですよね？

「どうしてこんな面倒なやり方でクラスを発表してるんですか？」

アキ兄が先生に質問します。

そりゃあ決まってますよアキ兄……

「クラスに誰が居るのか分かったら、“戦争”で奇襲を仕掛けたりできなくなっちゃうじゃないですか」

「あ、なるほど」
「全く違つと思つぞ」

え？違つんですか？

「まあ文月学園（こい）は世界的にも有名な試験召喚システムを取り入れるからな、これもその一環つてわけだ」

なるほどー、そういふわけですか。

あ。Fクラスですね。当然ですけど。

「しかし、吉井兄。お前がしたことは、間違つてなかつたと先生は思つぞ」

「え？あ、ありがとうございます」

「あの事は俺たち教師の間でも意見が分かれてな。ほとんどの先生がお前と姫路に再試験のチャンスを与えるべきだと主張したんだが、学園長がどうしても首を縦に振らなかつたんだ」

あ、それは仕方ないですね。あの学園長（ババア）。そーゆーところは妙にお堅いですから。

「ちよ、ちよつと待つてくださいよ。香奈だつて……」

「アキ兄、私は自分の意思で途中退席したんですよ？それも嘘までついて」

あれは私の独断ですから、再試験がなくても自業自得ですしね。

「そうだ、吉井妹。気持ちはわかるが教師への暴言はこれつきりしろ。次は庇いきれんぞ」

「あれ、庇ってくださいさったんですか？ありがとうございます。でも

あんな奴を教師と呼ぶのはどうかと思いますよ？屑ですし」

だって超ムカつくんですもん。

「……………それをやめると言ってるんだがなあ……………。まあいい、もう教室へ行け」

「「はーい」「」

アキ兄と一緒にFクラスの教室へ向かいます。

ああ……………愛しの瑞希ちゃんに早く会いたい……………

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6361y/>

バカと百合な妹と召喚獣

2011年11月20日23時24分発行